

# 2016年度事業報告書

社会福祉法人大阪キリスト教社会館

# 社会福祉法人大阪キリスト教社会館

## 2016 年度事業報告

### 〈 本部事業 〉

2016 年度は、社会福祉法人制度改革に向けた定款の変更があり、「評議員選任・解任委員会」の開催、評議員 7 人の選任を終えることが出来ました。

また、通常の理事会・評議員会の他、臨時の理事会・評議員会も 3 回開催し、新制度上における法人運営や定款変更、事業追加（一般相談支援事業・特定相談支援事業・隣保事業）に関する議論や、千島保育所所長の退職に伴う新所長の就任等の議論もおこないました。10 月には法人研修（職員研修）を開催し、その中で永続勤務職員 2 人の表彰もありました。社会館が門真地区（医療・介護・隣保各事業）・大正地区（保育事業）それぞれにおいて社会福祉法人としての役割を担っていくための調整、基礎作りをおこなっています。

### 2016 年度本部事業

4 月	役員改正法務局届出 イースター礼拝
5 月	法人監事監査 2015 年度事業報告・決算報告他理事・評議員会開催・バザー開催
6 月	法人調書大阪府庁提出
8 月	第 9 回運営委員会開催
9 月	門真地区社会館祭り開催
10 月	法人研修（社会福祉法人制度改革について） 第 10 回運営委員会開催
11 月	理事会・評議員会開催（事業及び会計報告等中間報告）
12 月	クリスマス礼拝
2 月	臨時理事会・評議員会開催 （千島保育所所長辞任の件・定款事業追加他）
3 月	理事会・評議員会開催（2017 年度事業及び予算（案）等） 新定款大阪府庁提出 新定款での事業追加・収益事業削除定款変更提出

以下各事業の 2016 年度事業報告をいたします。

## 1. 診療所事業

診療所事業は、眼科・内科の日々の診療業務、十字の園への眼科往診、小・中学校への眼科検診、めぐみ保育園への眼科検診、職員研修時の医療面からの支援、職員検診、介護利用者への医療支援等を行いながら無料・低額診療事業としての役割を果たしてきました。患者様への支援だけではなく、介護保険上での認定医、施設入所者への診断書作成等の協力も行い、地域高齢者を医療的な側面から支援することが出来ました。在宅介護事業施設に医療機関が併設されている事で、利用者が安心されています。

また、無料・低額診療事業については 2017 年 3 月に大阪府の実地調査を受け、無事終了いたしました。

### 診療所事業内容

	日数	患者数	生保	減免患者	減免額
4 月	24	830	44	121	82,020
5 月	22	911	51	188	106,550
6 月	25	1,089	65	288	154,130
7 月	24	855	57	148	84,150
8 月	21	829	50	132	96,040
9 月	23	837	49	123	99,790
10 月	24	923	49	149	85,270
11 月	23	902	55	109	73,550
12 月	23	886	53	113	59,800
1 月	20	733	48	87	57,920
2 月	22	700	47	91	51,250
3 月	25	894	69	155	82,530
<b>合計</b>	<b>276</b>	<b>10,389</b>	<b>637</b>	<b>1,704</b>	<b>1,033,000</b>
<b>平均</b>	<b>23.0</b>	<b>865.8</b>	<b>53.1</b>	<b>142.0</b>	<b>86,083.3</b>
<b>前年度</b>	<b>23</b>	<b>872.3</b>	<b>60.8</b>	<b>134.5</b>	<b>92,852.5</b>

2017 年 3 月 31 日現在

## 2016 年度職員研修

※ 研修は下記のように開催しました。介護と医療共通研修です

日 時	研 修 内 容	担 当
4 月 26 日 (火)	日常生活支援総合事業 各職種の連携の在り方	橋本・里中
5 月 31 日 (火)	排泄と食事に関する技術	小川・沖田
6 月 28 日 (火)	食中毒対策と医療知識	尾崎先生
7 月 26 日 (火)	悪徳商法の被害に遭わないために	門真市消費生活センター職員
8 月 30 日 (火)	苦情対応・事故処理・記録の書き方	橋本・里中
9 月 27 日 (火)	虐待・身体拘束・隣保事業について	橋本・里中
10 月 15 日(土)	法人研修：社会福祉基礎構造改革について	牧口明評議員
11 月 29 日 (火)	認知症利用者への対応	関西医科大学総合医療 センター鈴木美佐 PSW
12 月 27 日 (火)	コミュニケーション技術	児島：ショートステイ 藤井：デイサービス
1 月 31 日 (火)	個人情報・守秘義務・法令遵守	橋本・里中
2 月 28 日 (火)	高齢者の疾患と感染症	尾崎先生
3 月 28 日 (火)	来年度の制度改正に向けて 人権研修	橋本 福井

※ 防火・避難訓練 10月、3月

## 2. 介護事業

2016年度介護事業は、介護予防・日常生活支援総合事業の施行にむけて、介護予防通所介護及び1号通所事業ブドウ（緩和A型）の新規指定申請、訪問看護ステーションで短期集中リハビリ（緩和C型）の新規申請の手続きを行い、利用者への説明や制度導入に向けた職員への周知等の取組を行ってきました。

各事業で退職者があっても直ちに補充することなく、その時点での職員数で利用者を支援してきました。また、介護職員のキャリアアップ支援も少しずつ実を結んできており、介護福祉士国家試験には2人の職員が合格し、介護（福祉・介護）職員の処遇改善加算も給与体制の中で活用しています。

以上のような取組を通して、来年に予定されている介護報酬改正でも、大きなダメージを受けない組織作りの基礎が出来たと思います。今後とも各事業が密接に連携を取りながら利用者への支援に取り組んでいきます。

### ① ケアプランセンターブドウ

ケアプランセンターではケアマネ1人が病気で死去し、1人が定年退職したため、主任ケアマネ3人、ケアマネ2人の計5人で業務を行ってきました。介護予防・日常生活支援総合事業への対応に向け中心的な役割を担いながら、一般相談支援事業・特定相談支援事業の手続き、隣保事業の手続きの支援を無事に終えることが出来ました。介護保険上での相談業務だけではなく、障害者、生活困窮者に対する援助も行っていけるよう準備を進めています。また職員が積極的に地域に出向き、必要な支援をおこなう事業所としての働きをしていきたいと思っています。

また2017年度は翌年度から本格的に始まる、介護予防・日常生活支援総合事業への参入も含め新制度に対する勉強を重ねながら、介護事業所としての整備を各事業所と共に進めて行きたいと考えています。

### ② ヘルパーステーションブドウ

ヘルパーステーションでは利用者宅に出向き、制度の範囲内でいかに必要な支援を行う事ができるかが求められています。時には、利用者の求めることと制度との間にギャップを抱え支援を行う事もあり、高齢者の在宅支援の難しさを感じながら仕事を行っています。

職員は日々の業務を行いながら、介護保険制度の理解、介護のキャリアアップ研修をおこなっています。常勤職員3人が退職しましたが、登録ヘルパーの補充で乗り切りました。

訪問介護事業は今後、要介護者への身体介護の比重が大きくなってきます。重度要介護者の身体介護を中心に研修を重ねていきたいと思っています。

### ③ 障害者支援事業（ヘルパーステーションブドウ）

障害者支援事業は、訪問介護事業と連携をとりながらおこなっています。2016年度は利用者の死去、施設入所等があり既存の利用量は減少しましたが、新たに精神疾患の利用者が増加傾向にあります。精神疾患への対応を学習しながら支援を続けていきます。

障害者支援では、権利擁護や、疾患に対する勉強をしっかりとおこなっていく必要があります。高齢者で障害を抱えながら生活をされている方もいるため、職員が協力をしながら在宅支援を行っています。

#### ④ ブドウ訪問看護ステーション

訪問看護ステーションでは90代の利用者、ターミナル期を繰り返す利用者、105歳を過ぎた方等多くの超高齢者の在宅支援に追われています。訪問看護は在宅訪問のみならず、ショートステイやデイサービス、診療所等への支援もおこなって来ました。特に在宅でのターミナル期の利用者への支援では、ヘルパーステーションと連携することで、ヘルパーの介護負担を軽減することが出来るようになりました。訪問看護ステーションの看護師が施設内において医療面での支援を行うことで、各事業の利用者への介護の質も向上していくことに繋がっていくと思っています。

また、新しく始まる短期集中リハビリ（緩和C型）開設に向けての準備も出来ました。

#### ⑤ デイサービスブドウ

2016年度は、新しい体制で業務がはじまり、利用者が「来て楽しかった」、「また来たい」と思ったださるデイサービスを目指して1年間頑張ってきました。初期の目標数の1日15人～16人（デイサービスの利用者上限は19人）をほぼ満たしています。要介護度の高い（要介護3～5）利用者が多くおられますが、現体制（常勤4名・パート2名）で業務をおこない、ショートステイと協力体制をとっています。医療面においては訪問看護ステーションからの支援も受けられます。

デイサービスには、認知症のある利用者や、障害者手帳をお持ちの利用者も多くおられます。日々の業務と合わせて研修を重ねていく事で利用者への支援に繋げて行きたいと思っています。

#### ⑥ ブドウショートステイ

2016年度は前年度の介護報酬減算による影響を受けましたが、下半期にはリピートで来て下さる方、週の中日（火・水・木・金）に利用して下さる方も増えてきました。また認知症利用者への対応も落ち着いてできるようになってきました。2人体制であった看護師が1人退職しましたが、訪問看護ステーションからの応援を得て、多くの良い面も生み出しています。ショートステイは夜勤が1人体制のため、安全を確保するための研修を行っていく必要があります。今年度も消防（避難）訓練・災害時避難訓練マニュアルの作成整備を行ってきました。ショートステイは、利用者家族の介護軽減を目的に利用者を預か

ることも多いため、医療機関や訪問看護ステーションが併設され、協力支援を得られることで、家族が安心して利用者を預けられる施設として認めていただいています。「利用者が地域の中で在宅生活を継続する」ことを支援する要としての役割を意識しながら今後も頑張っていきたいと思います。

#### 介護事業行事報告

月	内 容
4月	お花見・お誕生日会・イースター礼拝
5月	バザー・お誕生日会
6月	お誕生日会
7月	お誕生日会・昼食バイキング
8月	お誕生日会・昼食バイキング・夏祭り
9月	社会館祭り・お誕生日会・昼食バイキング
10月	お誕生日会・昼食バイキング・法人研修
11月	お誕生日会・昼食バイキング
12月	お誕生日会・昼食バイキング・クリスマス会
1月	お誕生日会・昼食バイキング・お正月
2月	お誕生日会・昼食バイキング・節分
3月	お誕生日会・昼食バイキング・ひな祭り

## 2016 年度事業報告 (めぐみ保育園)

子ども・子育て支援の新制度が2年目を迎え、少しずつ制度の中身が見えてきました。運営費は給付費となり、標準時間・短時間の制度は未だに現実にそぐわないものの、国の推進する処遇改善加算が加味され、それぞれの加算、減算で支給されるようになりました。待機児童対策や保育士不足解消策が打ち出されて一層声高に言われていますが、そもそもその制度の成り立ちの難しさがあると思います。待機児童解消策は、過疎地や人口減少地域では園児確保のための生き残り競争を生み、統廃合が進むこととなります。しかし、今後は保育・幼稚園・認定こども園という3つの施設類型が連なっていく中で、それぞれが立脚する保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園教育・保育要領の改定が現在検討されており、すべての子どもへの支援と3歳児以上の「幼児教育」の整合性を図るべく2018年度施行で行われることとなります。それは、子どもたちの育ちを考える上で、乳児期の保育が大きな役割を担っていると考えられます。

大阪市も独自に、4歳児の保育料の無償化や処遇改善と共に、保育者の資質・能力の向上を考える上で保育・幼児教育センターを立ち上げ、国のキャリアアップの仕組みを推し進めようとしています。また、ICT機器の導入のための補助制度を実施し、膨大な事務量を大阪市保育事務センターと連動させることで軽減を図ろうとしましたが、現実にはまだまだ時間と労力が必要な状態です。実際、現場の職員にとっては、保育と共に事務作業にも追われ、熱意を持った人材を募集しても来てくれず、子どもたちや保護者の要求に対して、余裕をもって対応するのが難しい状況です。

多くの保護者が保育の必要性を訴え、声がようやく行政を動かし始めたものの、受け皿としての保育現場の実情もまだまだ厳しいのも現実で、少しずつその改善を図り、質の向上を目指して『子どもが好き』だった仕事を取り戻していかなばと思います。

2016年度保育園での事業計画として、

①門扉の改修をようやく実施することが出来ました。雨天時やくぐり扉の足下の悪さを改善し、利用できるようになりました。一方で、ICT化による保護者による登降園把握をスムーズに行うことを願ったものの、機器は機器でフリーズが続き、保護者の苦情と共に立ち上げを繰り返すストレスもあり、少し運用に時間がかかるようです。今後職員がパソコン処理に少しずつ慣れてくれることにより、事務作業の軽減の一步になればと思います。

②保育内容の面では、子どもたちを尊重した保育を実施することを話しあってきましたが、見えていない所での作品掲示の見落としや、子どもへの対応等でお叱りを受けることが有り、全体化を計りながら自分たちの保育を見直し、自分たちが良い保育をしているという思い込みから、子どもたちをどのように受け止め、それを分かりやすく伝える努力を今後も更に重ねる必要があります。

③職員のやる気や質の向上をはかる上での、処遇改善とキャリアアップの体制をどのように構築していくのか、給与体系や人事考課の問題と併せて、引き続き両園で検討していく必要があると思われます。給与が少しアップしても、物価や保険料の上昇でかき消されていくのが現状です。

次年度、国のキャリアアップの施策も勘案しながら、職員それぞれが自分の仕事に対して



専門職として自信をもち、『子どもや、保護者にやさしい』思いを大切にして研修や待遇を引き続き、検討していくこととなります。

社会福祉法人の制度改革が通達され、当法人にとっても新たな取り組みが始まろうとしています。社会福祉施設の不祥事がとりわけ、大阪近隣を初め多く取り上げられる中で、地域に根を張って活動が出来るよう気を引き締め、努力していきたいと思います。

(産休職員 1 名含)

## 2016 年度園児入園実数

2017.3.31 現在

	0才	1才	2才	3才	4才	5才	合計
4月	6	15	18	20	20	21	100
5月	6	15	18	20	20	21	100
6月	6	15	18	19	20	20	98
7月	6	15	18	20	20	20	99
8月	6	15	18	20	20	20	99
9月	6	15	18	20	20	20	99
10月	6	15	18	20	20	20	99
11月	6	15	18	20	20	20	99
12月	6	15	18	20	20	20	99
1月	6	15	18	20	20	20	99
2月	6	15	18	20	20	20	99
3月	6	15	18	20	20	20	99
計	72	180	216	239	240	242	1189

めぐみ保育園

## 職員数 (2016 年度)

正規職員数	16 人
臨時職員数	4 人 ( (常勤並)
短時間臨時職員 数	5 人
シルバー人材センター	1 人
合計	25 人

## 2016年度 下半期行事実施表

月	日	曜	実施行事	日	曜	地域・その他
10月	7	金	運動会準備	8	土	(シーサー)(にこにこ)運動会
	8	土	運動会	15	土	社会館職員研修<
	11	火	避難訓練	15	木	(にこにこ)広場で遊ぼう
	19	水	園外保育-動物園(2才児・幼児)	20	木	にこにこ:広場で遊ぼう(地域親子)
	25	火	秋刀魚焼き会	27	木	(にこにこ)サロン
	26	水	人形劇(5才児)	25	火	カリキュラム・ケース会議(職員)
				30	金	特別養護第2大正園訪問交流(5歳児)
11月	5	土	親子ふれあいまつり	4	金	一斉入所面接
	8	火	避難訓練	5	土	<(シーサー)(にこにこ)親子ふれあいまつり
	9	水	公開保育(乳児クラス)	10	木	にこにこ:野外パン焼きパーティー(地域親子)
	10	木	野外パン焼き(5才児)	12	土	シーサークラブ(卒園生)ミニ遠足
	15	火	収穫感謝パーティー	17	木	(にこにこ)保健師相談・サロン
	16	水	みかん狩遠足	29	火	カリキュラム・ケース会議(職員)
	26	土	おもちつき大会	30	水	保護者みそ造り
						
12月	6	火	避難訓練	1	火	(にこにこ)手作りの会
	8	木	めぐみ教会クリスマスのお話	19	月	老人憩いの家クリスマス交流(5才児)
	17	土	幼児保育参観・クリスマス会	20	火	(にこにこ)クリスマス会(上地t)
	22	木	ホームクリスマス	21	水	(シーサー)クリスマス会
	28	月	保育納め	22	木	Ⅲ期総括会議(職員)
				27	火	大阪市建物点検
1月	4	水	保育始め	17	火	(にこにこ)感触遊び
	10	火	避難訓練	22	金	カリキュラム・ケース会議(職員)
	11	水	お正月遊び・お餅焼き会	28	土	(シーサー)体験プログラム-伝統遊び
	18	水	冬の戸外遊び大会	25	水	カリキュラム・ケース会議(職員)
	21	土	乳児保育参観・懇談会	26	木	床暖修理
						
2月	1	水	幼児個人懇談(~12日)	2	木	(にこにこ)親子クッキング
			公開保育(コ研)幼児クラス	6	~18(土)	保育実習受入-大阪女子短大1名
	3	金	節分会	7	火	住宅との共同防火
	7	火	避難訓練-防災食体験	16	木	(にこにこ)リズム遊び
	8	水	小林小学校見学-接続交流(5才児)	22	水	カリキュラム・ケース会議(職員)
	13	月	一年生との交流会(小林小学校)	23	木	保護者の会 社会見学(生野コリアタウン)
	16	木	視力検査・眼科検診	28	火	(ニコニコ)サロン
	17	金	ムーチー作り			
22	水	雪遊び遠足(4.5歳児)				
						
3月	1	水	ぼた餅作り	4	土	総括・新年度会議(職員)
	3	金	ひな祭り・5歳児懇談会	10	木	入園説明会・内科健診
	6	月	卒園お祝い会(5歳児と乳児)	24	金	(シーサー)卒園生との交流会
	7	火	避難訓練	24	金	カリキュラム・ケース会議(職員)
	8	水	みそづくり(4才児)	28	火	(にこにこ)サロン
	9	木	2017年度入園説明会・内科健診			
	18	土	卒園式・お祝い会・部屋移動(職員)			
						
<p>*お誕生日は子どもの生まれた日に合わせてお祝いします。                  *サロン:在園児・地域親子むけ手作りお菓子とお茶の集いの日です                  *シーサークラブ:卒園児の会 にこにこ:子育て支援                  *食育活動としていきいきクッキング・お話しがあります。</p>						
 <small>pixta.jp - 11959532</small>						

## 2016年度事業報告（千島保育所）

2016年度は新入児26名を含めた107名での出発となりましたが、月平均110名の児童数を保育してきました。

在園児が標準時間保育児と位置づけられたことにより、思っていたより短時間保育児が少なく、一定の運営費の収入を得ることができました。

年度途中に大阪市から、「保育所等のICT化を推進し、保育士の業務負担の軽減を図る」ことを目的として、保育業務支援システムの導入を推奨されたことにより、電気錠の設置、パソコン購入やライン工事の費用が発生し、思わぬ大きな支出となりました。

しかし、2014年度から少しずつ財政面で切り詰めてきた結果、600万円を運営費以外に預金することができました。

職員については、正職13名、非常勤6名、パート2名という体制で始まったものの、年度途中での退職（9月—非常勤12月—正職）、病欠などがあり、求人を出しても保育士が見つからず、雇用面で苦慮した年でもありました。毎年の採用についてもきびしい現実があります。体制面で苦しい時期でも例年通り行事や保育を進めてこられたのは、職員同士協力し合う関係ができていたからだと思います。

後半は、保育業務のICT化に伴う、門の電気錠の設置工事やインターネットの工事、職員への操作指導、保護者への周知など新たなことがあったり、試行期間中にシステムにトラブルが生じたりと、対応に追われる年度末でした。

保育内容としては、一人ひとりが2年間に学んできたことを実践し、お互いに出し合うことで、刺激しあい、個人の力量を高めることにつながり、園としての積み重ねが少しずつではありますができつつあります。

保護者に向けては、保護者学習会を開催したり、絵本の貸し出しに新たに取り組んだりしましたが、「子育ての中で何を大切にしなければならないか」を保護者と共に考える年でもありました。

次年度においては、実践をより深め、若年層にも保育内容や保育方法を伝えていけるよう研修のやり方を工夫したり、保護者へも子育てについていろいろなことを発信していったり等、職員全員で力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

2016 年度行事報告 (千島保育所)

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	1	金	進級を祝う会	10	8	土	みんなで遊ぼうパート1
	4	月	入所を祝う会		19	水	バス遠足 (2～5歳)
	15	金	クラス懇談会 (5歳)		25	火	お話会 (4・5歳)
	20	水	クラス懇談会 (4歳)		26	水	お楽しみ会
	22	金	クラス懇談会 (3歳)				
5	10	火	子どものつどい	11	9	水	防火教室 (4・5歳)
	12	木	遠足 (5歳)		10	木	遠足 (3歳)
	18	水	遠足 (4歳)		15	火	遠足 (4歳)
	19	木	クラス懇談会 (2歳)		16	水	お話会 (4・5歳)
	24	火	職業体験 (大正東中) 遠足 (3歳)		17	木	遠足 (5歳) 職場体験 (大正北中)
	25	水	職業体験 (大正東中)		18	金	職場体験 (大正北中)
	27	金	クラス懇談会 (1歳)		29	火	お楽しみ会
	31	火	お話会 (4・5歳)				
6	2	木	クラス懇談会 (0歳)	12	7	水	お話会 (4・5歳)
	9	木	お話会 (4・5歳)		16	金	みんなで遊ぼうパート2
	10	金	プラネタリウム (5歳)		20	水	クリスマス会
	14	火	内科健診		21	火	老人ホーム訪問 (5歳)
	16	木	お楽しみ会		28	水	保育じまい
	30	木	歯科健診				
7	2	土	夏まつり	1	10	火	内科健診
	7	木	七夕		12	木	もちつき
	11	月	お話会 (4・5歳)		24	火	お話会 (4・5歳)
	12	火	プールびらき		25	水	5歳児修了写真撮影
8	5	金	平和のつどい	2	3	金	節分
	31	火	プールじまい		14	火	めぐみと交流 (5歳児)
			★毎月 避難訓練実施		15	水	お楽しみ会 (手品)
			★毎週月曜日 地域交流		16	木	お話会 (4・5歳)
			★食育活動 2～5歳実施		17	金	就学前懇談会 (5歳)
			★毎月 ざぶとんの会—絵本読み		24	金	小学校見学 (5歳)
9	6	火	保護者学習会	3	1	水	内科健診
	13	火	内科健診・お話会 (4・5歳)		2	木	クラス懇談会 (2歳)
	14	水	お楽しみ会		3	金	おわかれ散歩
					7	火	お話会 (4・5歳)
					9	金	おわかれ会 24 修了を祝う会